



コンパクトシティ戦略による富山型都市経営の構築

～ソーシャルキャピタルあふれる持続可能な付加価値創造都市を目指して～

富山市副市長 神田 昌幸

富山市の概要

総面積: 1,241.85km² (県庁所在都市では2番目の広さ)

人口: 421,953人 (2010年国勢調査)

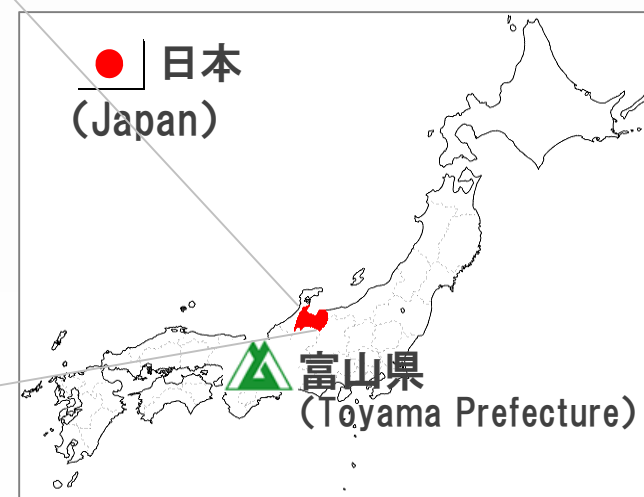
特徴: 海拔0mの富山湾から標高2,986mの水晶岳

包蔵水力全国第2位 (富山県)

地熱資源量全国第2位 (富山県)



富山駅上空からみた市街地



富山市の政策における様々な指定

- H19年2月 中心市街地活性化基本計画の認定
(青森市とともに内閣総理大臣認定第1号)
- H20年7月 環境モデル都市に選定される
(当時6都市)
- H23年12月 環境未来都市に選定される
(被災地以外では5都市、
大都市以外の市では唯一)
- H24年3月 第2期中心市街地活性化基本計画の認定

国が新成長戦略に位置づける「環境未来都市」構想の対象都市として **富山市**が選定される <平成23年12月22日>



選定理由

LRTなどの公共交通を核としてコンパクトシティを目指す戦略的な提案であり、**地方都市の抱える課題の解決モデル**になり得る

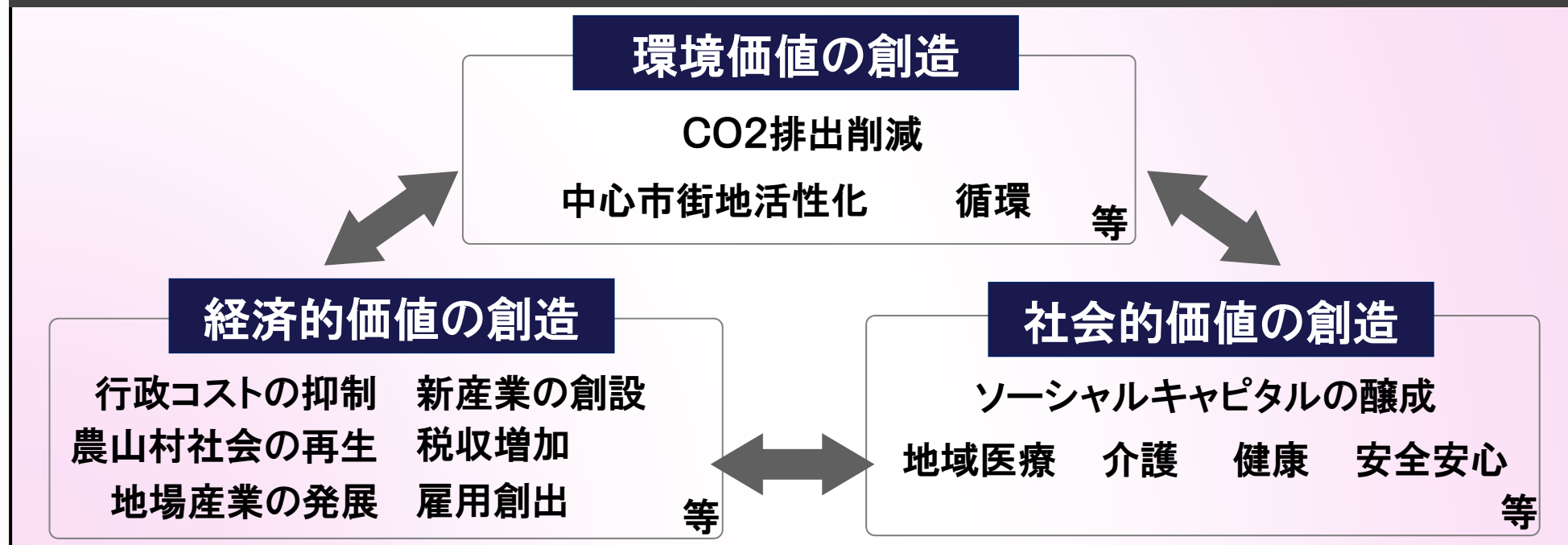
◀ 総理大臣官邸での選定証授与式

選定都市 (計30の都市・地域から応募)

《被災地域以外(5都市・地域)》

- 北海道下川町
- 千葉県柏市、三井不動産㈱など
- 神奈川県横浜市
- 富山県富山市**
- 福岡県北九州市

コンパクトシティ戦略による富山型都市経営の構築



環境・社会・経済のイノベーションによる未来に開かれた都市へ

生活の質と環境が調和した「満足度の高い暮らし」の創生により、**持続型社会を実現**

環境未来都市計画 ～地方都市における持続可能な未来像を目指して～



＜地方都市の現状と課題＞

人口減少、超高齢化、厳しい財政運営、維持管理費等行政コストの増大 etc

これらに対応できる地方都市の1つの未来像を提示

1. 公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり

公共交通の活性化、中心市街地や公共交通沿線での都市機能の集積 など

2. 質の高い魅力的な市民生活づくり

中心市街地の活性化、歩いて暮らせるまちづくり、ソーシャルキャピタルの醸成 など

3. 地域特性を十分に活かした産業振興

地場産業である薬業の最大限の活用、再生可能エネルギーの活用、企業誘致 など



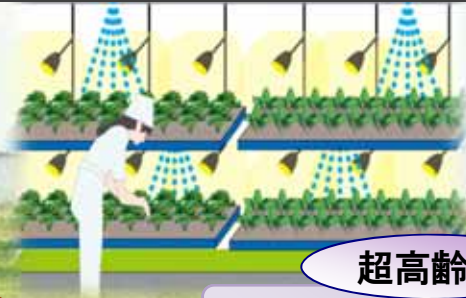
サステナブル(持続可能)な都市を創出することにより、
「誰もが暮らしたいまち」・「誰もが活力あるまち」を実現

将来像の実現に向けた主な取り組み内容(全15事業)

再生可能エネルギーを活用した農業活性化



薬用植物栽培工場の構築



ヘルシー&交流タウンの形成



LRTネットワークの形成



環境

公共交通の活性化

中心市街地・公共交通沿線での
都市の諸機能の集積

再生可能エネルギーの活用

超高齢化

歩いて暮らせるまちづくり

薬用植物生産システムの構築

人との触れ合いによる介護予
防・在宅支援サービス

地域コミュニティ主体の交流空間



セーフ&環境スマートモデル街区の整備



農業・森林・林業

農商工連携による富山ブランドの育成

森林資源の有効活用による林業の
自立モデルの構築

里山再生を担う人材育成拠点の整備

農商工連携による多様なビジネス推進



取組内容① ～LRTネットワークの形成～

富山駅の鉄道路線高架下において、富山ライトレールと市内電車の南北接続を行う。
また、南富山駅における市内電車の上滝線への乗り入れ検討や市内電車環状線への
新たな停留所の設置等を行い、**利便性の高いLRTネットワークを構築する**

▼市内電車環状線(H21.12開業)



▲富山駅高架下電停イメージ



▼富山ライトレール(H18.4開業)



▲市内電車

取組内容① ～LRTネットワークの形成～

平成26年度末 北陸新幹線開業
数年後の北陸本線等の高架化を踏まえ、
南北のLRT(富山ライトレール・市内電車環状線)を接続

世界に類を見ない、新幹線と平面LRTの接続を計画

富山駅南口駅前広場における**地下水熱の活用**について検討



▲富山駅南口夜景(イメージ)

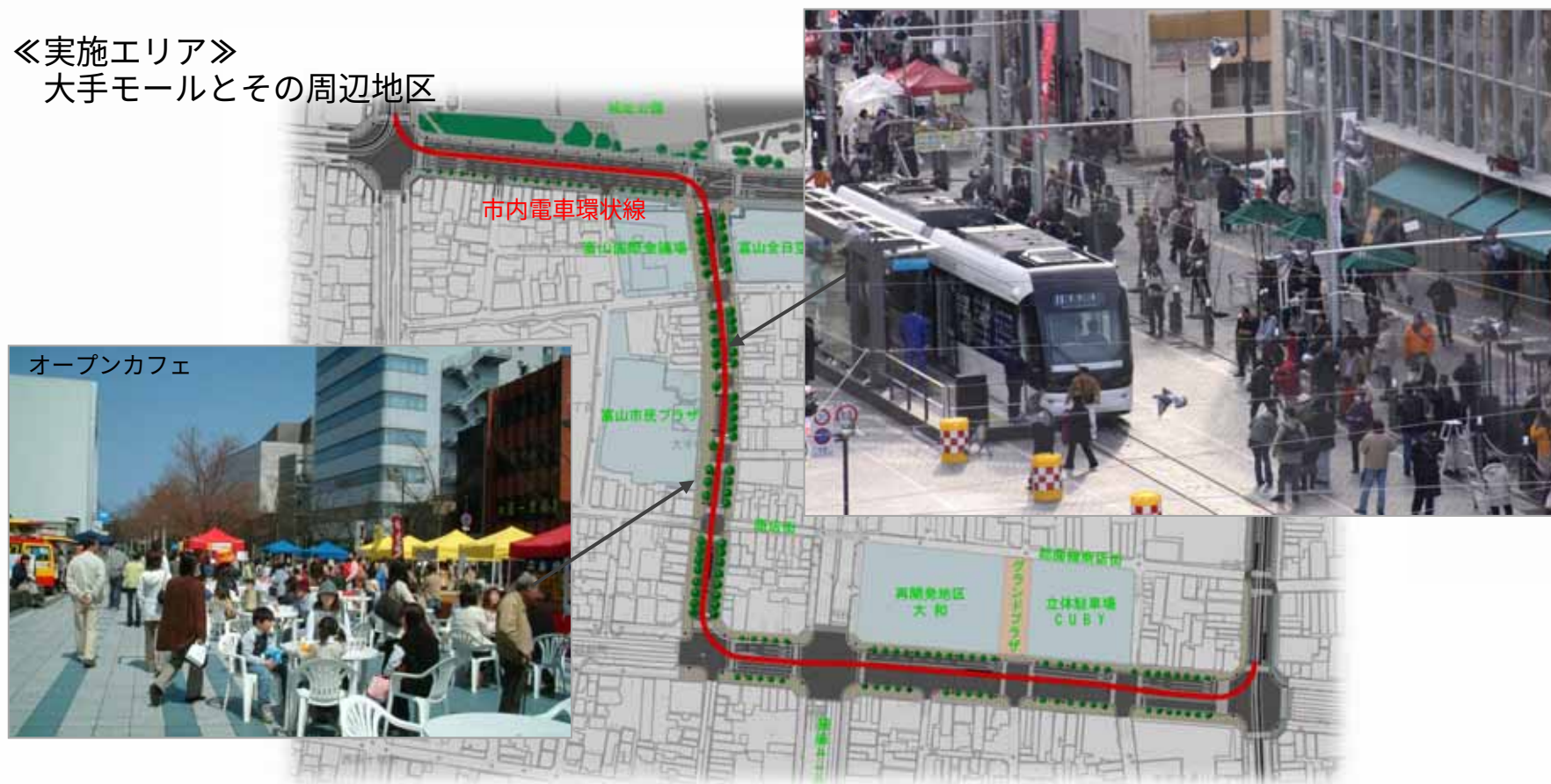


▲新幹線駅舎デザイン案

取組内容② ～交通空間の利活用交流推進～

市内電車環状線沿線において、自動車の規制等を一体的に行うことにより、公共交通の利用促進を図るとともに、道路空間を活用した地元地域によるイベントやオープンカフェ等の実施により、賑わいを創出し、中心市街地の活性化を目指す

《実施エリア》
大手モールとその周辺地区



高齢化等に対応したまちづくり

公共交通の活性化

■富山ライトレール



■市内環状線化事業

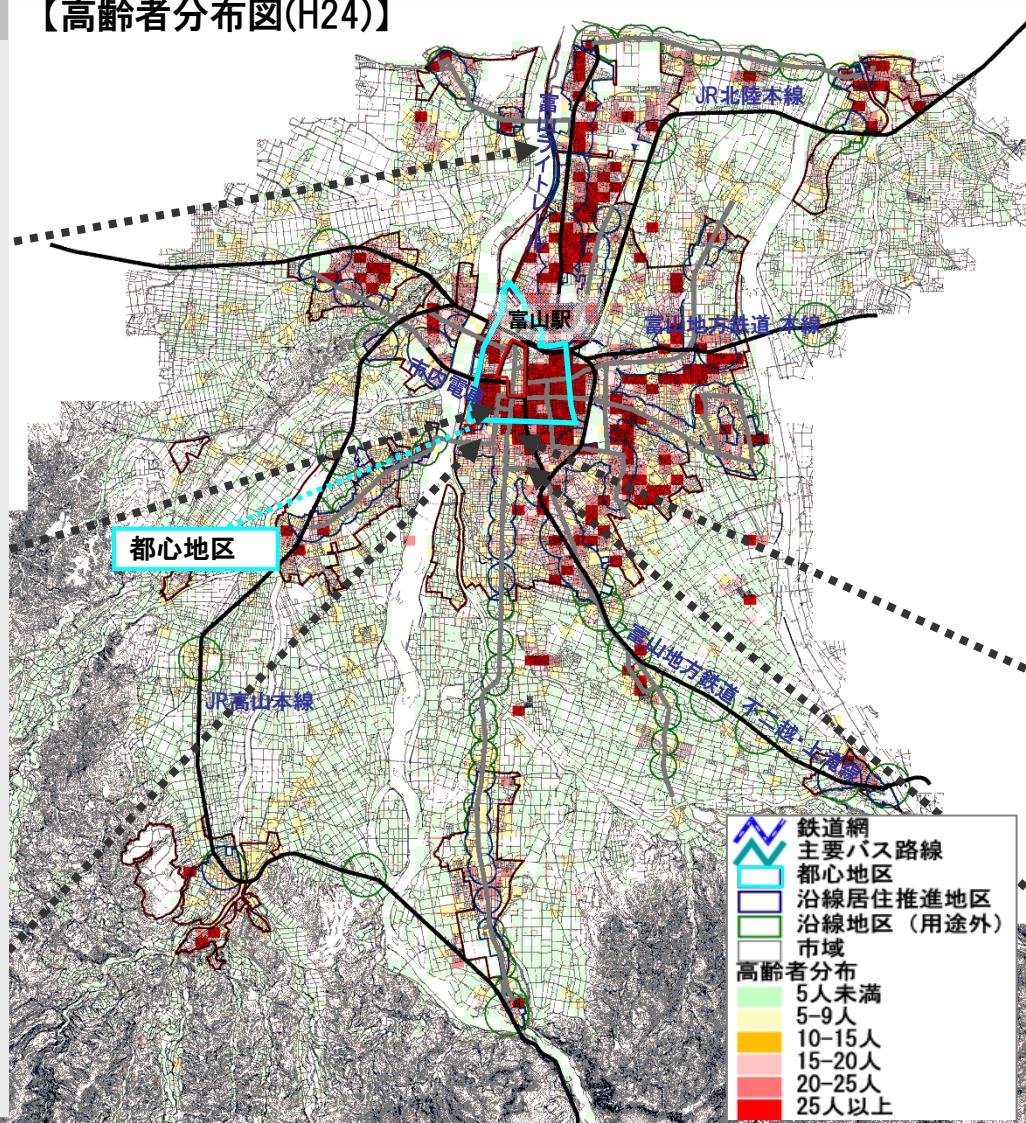


■バス路線の整備・活性化



まいどはやバス

【高齢者分布図(H24)】



高齢者向け交通サービス

■おでかけ定期券事業



■シルバーパスカ事業

■シルバータクシー事業

介護予防施設等の整備

■角川介護予防センター



■高齢者優良賃貸住宅



取組内容③ ～高齢者等に配慮した路面電車施設の整備～

高齢者や障害者のみならず**全ての利用者に優しいユニバーサルデザイン対応の停留所を整備し**、利用者の利便性を向上させるとともに、市内電車の利用促進を図る



取組内容④ ～セーフ&環境スマートモデル街区の整備～

公共交通沿線の低未利用地等において、環境に優しく、安全・安心で快適な生活を楽しむことができるモデル街区を整備し、公共交通沿線での利便性の高い暮らしや環境等に配慮した質の高い住宅供給の促進を図る



▼環境配慮型住宅



▼住民交流の場



▼福祉施設



▼自然エネルギーの活用

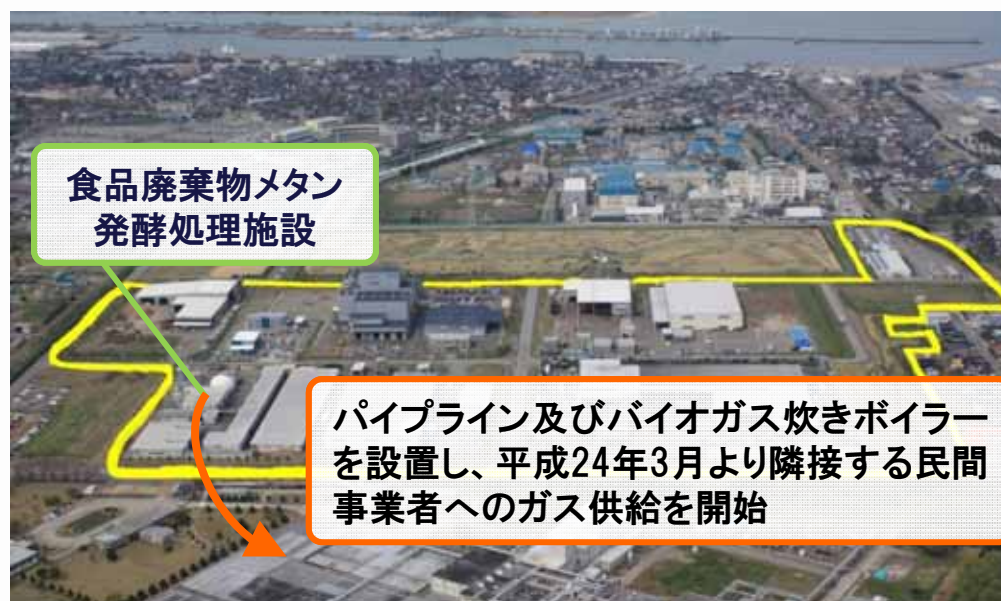
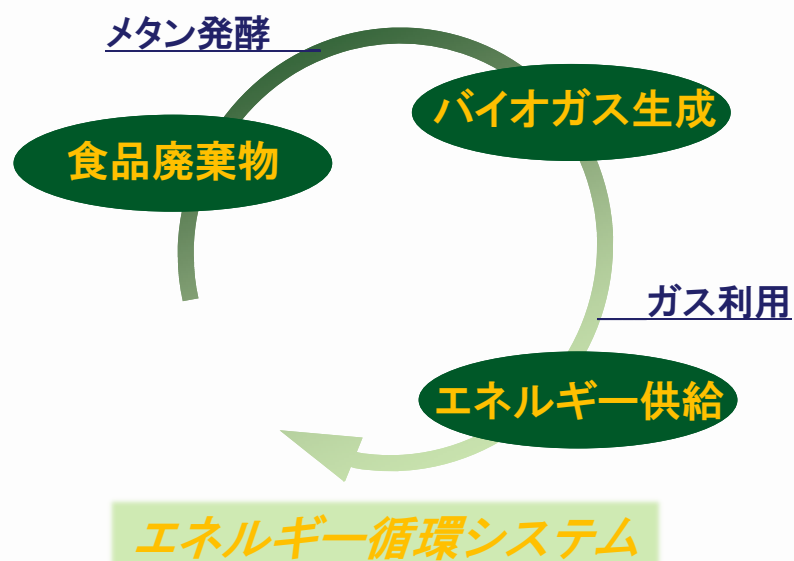


▲歩行者優先道路

取組内容⑤ ～ バイogasネットワークによる エネルギー循環システムの整備 ～



エコタウン産業団地の食品廃棄物処理事業等で発生するバイオガスを市内立地企業に供給するためのパイプラインを敷設し、**バイオガスの有効利用によるエネルギー循環システムを構築する**



▲エコタウン産業団地

《生ゴミ・草本バイオマスの複合高効率メタン発酵の技術開発事業》

生ゴミの複合処理による更なる**高効率な乾式・無排水メタン発酵手法を構築**するための実証研究事業を平成24年度より民間ガス事業者が実施(環境省補助事業)。

小水力発電所の整備

再生可能エネルギーの普及・拡大に向けたモデルとなるよう、常願寺川を水源とする常西合口用水において、2箇所の**小水力発電所を整備**（H24.3運転開始）



取組内容⑥ ～再生可能エネルギーを活用した農業活性化～

農業用水を活用した小水力発電施設を整備し、その発電電力を農業に幅広く活用（施設への電力供給、EVの導入等）することで農山村を活性化し、**自立型の自給モデルを確立**する

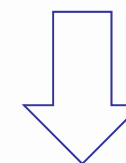


電力供給



農家負担の軽減

農業活性化



売電収益



農業農村振興
事業への展開



農山村自給モデルの確立



取組内容⑦ ～薬都とやま薬用植物栽培工場の構築～

薬業の集積を活用し、「植物工場」の発展型として、最先端のバイオ技術生産管理システムや再生可能エネルギーを導入した**薬用植物生産システム**を構築する



植物工場イメージ

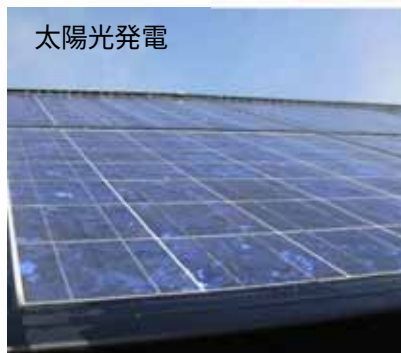
薬業の集積

遊休農地の活用

バイオ技術の導入

再生可能エネルギーの活用

電力供給



太陽光発電



小水力発電

地域ブランド・地域産業モデルの確立



取組内容⑧ ～ヘルシー&交流タウンの形成～

中心市街地にある介護予防施設を核として、高齢者等が、安全・安心・快適に生活できる歩行者ネットワークを形成し、高齢者の外出・交流機会の充実等を図る

広 場



歩行者ネットワーク

角川介護予防センター(H23.7開業)
温熱療法・陸上運動療法・パーソナルケア



公 園



病 院



歩行者ネットワーク

スポーツ交流拠点



取組内容⑨ ～ヘルシー&交流タウンの形成～

歩行補助車を公共ツールとして活用することで、元気なお年寄りはもちろん、身体が弱くなったお年寄りも積極的に街に出て、**生活を楽しむことができる歩行圏コミュニティを形成する**

《女子大生と行く 秋の街歩きツアー (H24.11.24)》



▲中心部の商店街を歩く

参加者の声

：「杖に比べて、長い距離を歩いても疲れない。
かごがあるのでたくさん買い物をしても安心。」
：「行動範囲が広がった。」



中心部の美術館「ギャラリー・ミレー」で作品を鑑賞 ▶

取組内容⑩ ～ 農商工連携による 環境と健康をテーマとした多様なビジネスの推進 ～

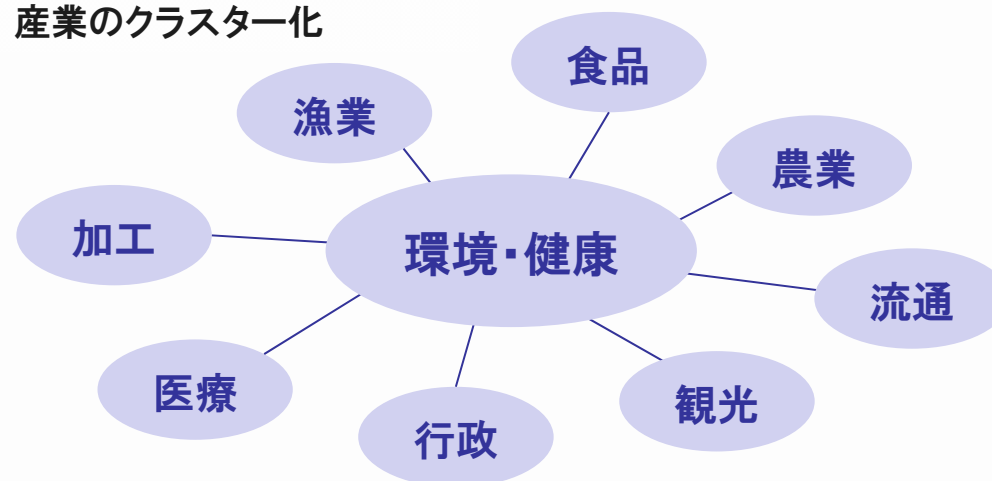


環境や健康を付加価値とした多様なビジネスを創出する仕組みを整備し、国際的な競争力を有する新たな輸出産業を育成するため、地域内連携を促進して産業のクラスター化を図る

ビジネス創出・育成



産業のクラスター化



(主事業)

6次連携クラスター事業

… 農商工連携(6次産業化)推進のためのネットワークの育成や支援の仕組みを構築

(関連事業)

①富山型CSA(地域支援型農業)導入

③医農商工連携推進事業

②低炭素農業による農産物の認証制度

④ヘルシーモールの開設

取組内容⑪ ～ 呉羽丘陵での「人と自然との共生 & 再生可能エネルギー」フィールドミュージアム形成 ～



呉羽丘陵を舞台に、健康づくりや癒しの場、持続可能な社会づくりのための「気付きの場」・「学びの場」としての機能の充実を図る

- 大学や病院との連携による森林空間での散策環境の整備や自然を活かした健康プログラムの開発
- 竹チップ等の里山資源や里山空間を活用した再生可能エネルギーの導入
- 大学やNPOとの連携による環境教育プログラムの研究開発と教育活動への展開

▼ホースセラピー



▲散策環境の整備イメージ



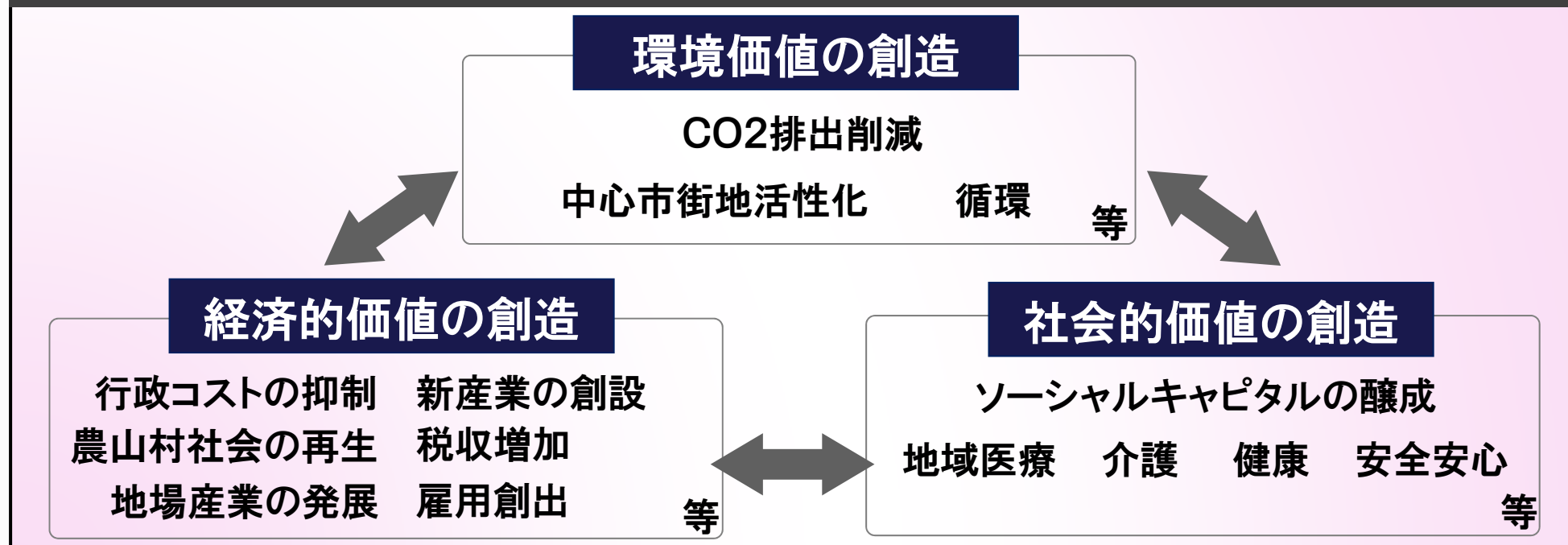
▲呉羽丘陵

取組内容⑫ ～再生可能エネルギーを活用した農業活性化～

農業用水を活用した小水力発電施設や地下水を活用したハウスを整備し、その再生可能エネルギーを農業に幅広く活用することで農山村を活性化し、自立型の自給モデルを確立



コンパクトシティ戦略による富山型都市経営の構築



環境・社会・経済のイノベーションによる未来に開かれた都市へ

生活の質と環境が調和した「満足度の高い暮らし」の創生により、**持続型社会を実現**